
日 本 水 大 賞
2009日本ストックホルム青少年水大賞

受賞者へお祝いの言葉

受賞者へお祝いの言葉

「第11回日本水大賞」受賞祝辞

山口県立厚狭高等学校生物部の皆さん、「第11回日本水大賞」の受賞、誠におめでとうございます。

皆さんは、これまでも第4回日本水大賞青少年研究活動特別賞、第5回日本水大賞青少年研究活動賞を受賞されていますが、今回の大賞受賞は、過去13年間にもわたるメダカに関する生態学的で高度な研究を通じて、生態系の維持や自然保護の難しさについて様々な場で問題提起を行ってこられた活動が高く評価された結果であり、大層意義深いことだと思います。

本県では、多自然川づくりを目指して、ホタル護岸の整備や、「水辺の小わざ」と名付けた、簡易型魚道の設置に代表される小規模で効果的な水辺の改善事業を行っており、豊かな自然をこれからも守り伝えていくために、ささやかなお手伝いができればと願っています。

皆さんには、今回の受賞をあくまで通過点として、さらに高みを目指して、今後もこのような研究を続けていただきたいと思います。

終わりに、運営に御尽力されました社団法人日本河川協会をはじめ、関係者の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、本賞の今後の一層の盛況を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成21年6月30日
山口県知事 二井 関成

祝 辞

この度、北海道から、河川愛護団体リバーネット21ながぬまが「第11回日本水大賞・国土交通大臣賞」を、また、北海道札幌旭丘高等学校が「2009日本ストックホルム青少年水大賞・審査部会特別賞」を晴れて受賞されましたことを、心からお祝い申し上げます。

河川愛護団体リバーネット21ながぬまにおかれましては、自分たちの身は自分で守る、お互いに助け合うことが命を守ることであることを子どもたちに教えるため、水害の歴史を伝える活動や水害時における避難ルートの確認、子どもでも積める土のうづくり、子ども水防団などの実践活動に積極的に取り組まれ、地域防災のモデルとして高く評価をしていただきました。

また、北海道札幌旭丘高等学校生物部におかれましては、地元の方々と共同してカワセミの営巣場所づくりに取り組まれ、継続的な繁殖を成功させたほか、3年間にわたりカワセミの生態・繁殖・育成行動の実態を明らかにする調査・研究を行い、鳥類の生態の解明のみならず、河川周辺環境の自然復元に関するきめ細やかな指針の作成にも大きく寄与するものとして、高く評価されました。

道におきましても、災害時における迅速な警戒避難体制の充実強化などの防災・減災対策をはじめ、みどりが広がり、多様な生き物が棲む「生きている川づくり」など、健全な水循環を確保する取組を進めているところです。

今回の両団体の受賞を大きな契機として、こうした取組が、全道、そして全国へと大きく広がっていくことを期待しています。

終わりに、受賞者の皆様のこれまでの活動に敬意を表しますとともに、今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます、お祝いのことばとさせていただきます。

平成21年6月30日
北海道知事 高橋 はるみ

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

「第11回日本水大賞環境大臣賞」を受賞された「矢田・庄内川をきれいにする会」並びに「同奨励賞」を受賞された「名古屋堀川ライオンズクラブ」の皆様、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

水は、私たちの生活や産業、文化の礎であり、本県では、平成18年3月に「あいち水循環再生基本構想」を策定し、「人と水との豊かな関わりの回復・創造」に取り組んでまいりました。

こうした中で、地域の住民・企業・行政と一体となって、水辺の浄化のための幅広い活動に取り組んでこられた皆様が、今回栄えある賞を受けられましたことは誠に意義深く、他の団体の方々にも大きな励みになることと大変喜んでおります。

現在、愛知県では、2010年に愛知・名古屋で開催される「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」を契機として、水環境を始めとする生物多様性を支える基盤環境の整備のため、県民の皆様と協働して様々な運動に取り組んでおります。

受賞者の皆様方におかれましては、今回の受賞を機にますますのご活躍をいただき、健全な水循環の再生とともに、生物多様性を基軸とする地域づくりにご支援、ご協力をいただきますことをお願いいたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成21年6月30日
愛知県知事 神田 真秋

祝 辞

「第11回日本水大賞」の各賞を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

「ミツカン水の文化センター様」は、「水の文化」にかかわる多様な研究活動を行うと同時に、その成果を社会に発信するなど広く啓発活動を展開されました。

「東京発電株式会社様」は、身近な水の未利用エネルギーの有効活用を通じて環境負荷の低減を図るとともに、地域の活性化に繋がる啓発活動に取り組まれました。また、「国建協ラオス粗朶工法調査団様」は、生態環境に配慮した河川伝統治水工法である「粗朶工法」のラオスへの技術移転に尽力されました。

このような皆様の着実な活動が高く評価され、今回の受賞につながったものと思います。

現在、都においては都民生活の中で潤いを与える水環境の復活や世界で最も環境負荷の少ない都市の実現を目標に掲げ「10年後の東京」計画を策定し、東京がさらに成熟した都市となるよう全力を挙げて取り組んでいます。

今回の受賞を契機に皆様の事業活動の益々のご発展ご活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。

平成21年6月30日
東京都知事 石原 慎太郎

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

「第11回日本水大賞農林水産大臣賞」を受賞された宮城県石巻工業高等学校の皆様にご心よりお祝いを申し上げます。

本県では、海・山・大地が育む多彩で豊富な食材を活かし、「食」に関わる産業の充実・発展を図るため、「食材王国みやぎ」の確立を目指しているところであります。「食材王国みやぎ」の逸品である「宮城のかき」・「宮城の米」は、消費者の皆様にご満足いただき、その信頼に充分応えておりますが、一方では加工時に大量に排出される「かき殻」や「もみ殻」が課題となっております。

この度の受賞は、貴校を中心とした産学官連携により、これらの産業廃棄物を有効活用した水浄化技術の開発や環境保全に関する啓蒙活動の実践、さらには当該技術が資源循環型産業として地域の活性化への効果が期待できることが高く評価されたものであり、県といたしましても、今後の活動に大きな期待を寄せているところであります。

今回の受賞を励みに、なお一層御活躍されますことをご祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成21年6月30日
宮城県知事 村井 嘉浩

「第11回日本水大賞文部科学大臣賞」受賞祝辞

ノートルダム女学院高等学校科学クラブの皆様、「第11回日本水大賞文部科学大臣賞」の受賞、おめでとうございます。

心からお祝い申し上げます。

ノートルダム女学院高等学校科学クラブにおかれましては、絶滅危惧種のニホンメダカの繁殖に取り組まれるとともに、そのニホンメダカを通じて子ども達に身近な水辺の生物についての知識を深めてもらうため、観察講座を継続して開催されていることに、敬服いたしております。

こうした活動は、指導されている先生方や諸先輩が築かれた良き伝統とそれを受け継がれた皆様の熱心な取組のたまものと考えております。

京都府内から4年連続で日本水大賞を受賞されていることは、第3回世界水フォーラム（2003年3月）の開催地である京都府にとって、水に関する地域の活動が着実に根付いていることを示すものであり、心強く、本当に嬉しく思っています。

今回の受賞を機に、水辺の命と自然環境を守ることの大切さを子ども達に伝え、感動を分かち合う皆様の調査・研究活動が、ますます発展されますことを大いに期待いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成21年6月30日
京都府知事 山田 啓二

受賞者へお祝いの言葉

第11回「日本水大賞」市民活動賞 受賞祝辞

不老川をきれいにする会の皆様、「第11回日本水大賞市民活動賞」の受賞、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

このたびの受賞は、不老川をきれいにする会が昭和60年の設立以来今日までの長きにわたり、早朝パトロールや川の清掃などの定期的な活動を通じて、不老川の環境改善を図るとともに、親子体験学習や流域の小中学校での出前語り部など、地域における環境教育の推進に大きな役割を果たされてきたことが高く評価されたものであります。

埼玉県は、県土に占める川の面積割合が日本一の「川の国」です。私は、この財産を活かして「清流の復活」と「安らぎとにぎわいの空間創出」を目指し、「川の再生」に取り組んでいます。

この「川の再生」の実現には、多くの方が自らのこととして関心を持ち、行動を起こしていただくことが重要です。皆様の活動が、県内、ひいては全国の多くの地域においてモデルとなって広がっていくことを期待しております。

今後とも、不老川をきれいにする会の皆様のますますの御活躍をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成21年6月30日
埼玉県知事 上田 清司

祝 辞

琵琶湖お魚ネットワークの皆様、第11回日本水大賞「奨励賞」受賞、おめでとうございます。

今、琵琶湖では在来魚の漁獲量の減少や外来魚の繁殖、また、南湖を中心とした水草の大量繁殖、新たな外来植物の進入など様々な課題を抱えています。

そうした中、琵琶湖お魚ネットワークでは、地域の保全活動に活躍されている多くの皆さんがそれぞれの活動の中で収集される琵琶湖流域の魚に関する調査データを有効に活用するため、調査マニュアルの作成など活動を横につなぐための工夫をしてこられました。誰でも楽しみながら調査活動に参加することができ、その成果が大切なデータとして活用され、あわせて自然環境への関心も高めていくという持続可能な調査活動の仕組みをつくっていただきましたことは、大変意義深いことだと思っています。

滋賀県では、琵琶湖の水環境や生態系の保全と再生に、県民やNPO、企業の皆様と力を合わせて取り組んでいきたいと考えており、皆様のこうした活動は大変心強く心から感謝を申し上げます。

今回の受賞を契機として、琵琶湖お魚ネットワークの活動の輪が大きく広がり、今後ますます発展することをお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成21年6月30日
滋賀県知事 嘉田 由紀子

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第11回日本水大賞「奨励賞」を受賞された氷見市及び長年活動を続けてこられた市民の皆様へ心からお祝い申し上げます。

富山湾と二上丘陵に囲まれた豊かな自然環境のもとで、国指定天然記念物である「イタセンパラ」の保護について、行政が中心となり、地域住民及び小学校と連携しながら密猟・外来魚の排除、現地見学会、調査、学習などの活動を続けてこられるなど、これまで大変なご尽力をされてきました。

この度の受賞は、「地域の宝」としてのイタセンパラを用いた総合学習を行政が中心となって実施するなど、「地域の宝」を保護する活動が、先端的な活動として高く評価されたものであります。

今回の受賞を励みに、今後ますますご活躍されることをお祈りいたしますとともに、活動を支えてこられた関係の皆様のご尽力に心から敬意を表しまして、お祝いの言葉といたします。

平成21年6月30日
富山県知事 石井 隆一

祝 辞

「第11回日本水大賞奨励賞」を受賞された香川県立多度津高等学校マイコン・機械工作部の皆様に、心からお祝いを申し上げます。

皆様方が研究されているアカテガニは、海浜や用水路の石垣などでよく見かけられたカニですが、生息環境の変化により、種の存続基盤が脆弱になっており、香川県のレッドデータブックにおいて準絶滅危惧種に指定されています。このアカテガニなどの陸ガニが棲める里海づくりを目指した取り組みは、ふるさとの水環境や自然豊かな景観を守り育てていくうえで、たいへん意義深いものです。今回の受賞は、日頃から学習されている水産海洋技術を応用し、自然エネルギーを活用した装置を考案、製作するとともに、各種大会でこれらの研究の成果を発表するなど、水環境を守ることの大切さや環境再生の難しさについて、啓発に努めてこられた活動が、評価されたものと思います。

香川県においても、地域住民の方々と行政の協働による良好な水環境の創出や、環境にやさしい工法を採用した護岸や堤防などによる豊かな水辺環境の保全に努めています。

受賞者の皆様が今後とも研究に励まれ、ますますご活躍されることを祈念いたしますとともに、活動を支えてこられた関係の皆様のご尽力に心から敬意を表しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成21年6月30日
香川県知事 真鍋 武紀

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

NPO法人首里まちづくり研究会 沖縄南部風景街道パートナーシップの皆様、「第11回日本水大賞」審査部会特別賞の受賞、誠におめでとうございます。

今回の受賞は、水に寄せる先人の心と想いを伝えるだけでなく、水を育む郷里の自然を守り、さらにその文化を次代へ継承することを目的に、先の沖縄戦で途絶えた「首里城お水取り」の伝統行事を復活させ、10年にわたり継続発展されてきた皆様方の活動が高く評価されたものです。

また、沖縄が誇る自然の生み出す美しい水を再認識し、自然環境保全への啓発活動につながる「首里城お水取り行事バスツアー」などが開催されております。このように、「首里城お水取り」をきっかけとして、美しい水を次世代の子供たちへと受け継ぐための様々な活動が、連携しつづけることは特筆すべきことだと思います。

今回受賞された皆様方が、今後ますます発展、飛躍されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成21年6月30日
沖縄県知事 仲井眞 弘多

祝 辞

第11回日本水大賞審査部会特別賞を受賞された広島銘水研究会の皆様へ、心からお祝いを申し上げます。

今回の受賞は、毎年8月6日の平和記念式典前に、犠牲者の慰霊のために献上される水が、献水として相応しいかどうかについて、22年間にわたり調査をされるとともに、いわゆる「原爆献水」の意義について、広く啓発されてこられたことが評価されたものです。

また、永年にわたる水質分析に加え、水質汚染の原因究明と対処方法の提案などを通じて、地域で名水保存活動が活発化し、献水16箇所のうち2箇所は「平成の名水百選」にも選出されました。

こうした社会貢献活動は、地域全体における水質保全の啓発にもつながる意義深い取組であり、深く敬意を表する次第です。

今後とも、広島銘水研究会の皆様には、「原爆献水」の水質の確保を通じて、引き続き、平和と環境保護の実現に御尽力いただきますようお願いし、お祝いの言葉といたします。

平成21年6月30日
広島県知事 藤田 雄山

受賞者へお祝いの言葉

第11回「日本水大賞」 審査部会特別賞 知事祝辞

橋本夏次様、第11回「日本水大賞」審査部会特別賞の受賞、誠におめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

このたびの受賞は、橋本様が「貝塚大好き近木川大好き」という地域愛と「近木川で育つ川ガキ」を無くしたくないという強い信念の下、貝塚市職員時代から精力的に活動を展開されてきた、フォーラムの開催、出前教室、川の分校づくりなどの活動が高く評価されたものと考えています。

大阪府におきましては、住民や地域が一体となった活動を支援し、地域力の再生を目指しています。そのような中、子ども達が近木川との触れ合いを通して「川と人とのいい関係の再構築」を目指す取組みや「暮らしの中での問題は、暮らしの中で解決を」をモットーとした市民活動の育成など、橋本様の活動はとても意義があり重要なものだと考え、大阪府としましても今後の活動に大きな期待を寄せております。

今回の受賞を励みに、今後ますますご活躍されることを祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

平成21年6月30日
大阪府知事 橋下 徹

受賞者へお祝いの言葉

「2009日本ストックホルム青少年水大賞」祝辞

京都府立桂高等学校草花クラブ・TAFFの皆様、「2009日本ストックホルム青少年水大賞」の受賞、おめでとうございます。

心からお祝い申し上げます。

桂高等学校草花クラブにおかれましては、若草山（奈良）での繁殖条件を考察し、国内自家種子の「ノシバ」の繁殖方法を確立され、さらに、その安定発芽、栽培方法を活用した屋上緑化用芝マットの開発に成功されるなど、大きな成果をあげられたところです。

また、この研究成果は、森林に匹敵するほどのCO2を固定する力を有するといわれる草原の放牧地としての利用と維持管理の手法に重要な示唆を与えるものと評価されており、京都府が推進しております地球温暖化防止対策にも寄与するものと期待しております。

8月に行われるストックホルムでの研究発表が成功裏に終わられることをお祈りするとともに、今回の受賞を機に、今後とも貴クラブの様々な調査・研究活動が、ますます発展されますことを祈念申しあげまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成21年6月30日
京都府知事 山田 啓二

祝 辞

国立明石工業高等専門学校・環境デザイン同好会の皆さん、「2009日本ストックホルム青少年水大賞審査部会特別賞」の受賞、本当におめでとう。

今回の受賞では、コウノトリが生息できる環境づくりをめざした「ドジョウ水田」の試みが、人と自然の共生空間の再生に大きく貢献するものとして、高く評価されました。意欲あふれる活動に、心から拍手を贈ります。

私たちは、利便性や効率を求める過程で、多くの貴重な自然を失ってきました。しかし、多様な生物が棲む環境でこそ、私たちも安全で安心して暮らすことができるのです。

兵庫県は、県民の参画と協働のもと、「コウノトリと共生する川づくり」など、豊かな環境の保全・再生・創造に力を注いでいます。一度は絶滅したコウノトリも、約半世紀にわたる取り組みが実を結び、現在、20数羽が再び兵庫の大空を舞っています。

それだけに、環境デザイン同好会の皆さんが自ら考え、議論し、多くの人々と協力しながら、環境問題に取り組まれていることは、本当にすばらしいことです。

未来を拓くのは若い皆さんの力。これからも、夢と目標をもって、果敢にチャレンジしていかれることを期待しています。頑張ってください。

平成21年6月30日
兵庫県知事 井戸 敏三

受賞者へお祝いの言葉

2009日本ストックホルム青少年水大賞 受賞祝辞

埼玉県立熊谷西高等学校自然科学部生物班の皆様、「2009日本ストックホルム青少年水大賞審査部会特別賞」の受賞、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

このたびの受賞は、郷土の自然に生息する水生昆虫のヒメガムシに注目され、その生態や生息環境について調査研究を積み重ねることにより、ヒメガムシの生息が生物多様性の指標となる可能性を示唆したことが、高く評価されたものであります。

埼玉県では、平成20年3月に、県民が生物多様性を身近な問題として捉え、企業、団体、県民一人ひとりが、できることから行動するための指針として生物多様性保全県戦略を策定し、生物多様性の保全に取り組んでおります。

こうした中で、皆様がこのような栄えある賞を受賞されましたことは、大変心強いことであり、今後の更なる研究活動により、大きな成果が得られますことを心から期待しております。

今回の受賞を機に、埼玉県立熊谷西高等学校自然科学部生物班の皆様のみずみずの御活躍をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成21年6月30日
埼玉県知事 上田 清司